



基礎代謝も上がって筋肉がつき、ボディにメリハリが出ます。

皮膚や毛髪も元気になり、物忘れや意欲・性欲の低下も改善されます。いわゆるアンチエイジング効果が期待できるんです」

片桐さん自身もDHEAを服用している。

「私は現在43才ですが、4年前から疲労感が抜けにくくなり、プレ更年期かな」と感じてきた時点でのみ始めたんです。慢性疲労の軽減を実感しました」

処方に関しては、まずカウンセリングをした後、必要に応じてホルモン数値を調べるため血液検査を行う。服用は毎日朝食時に1回のみ。値段も60錠で3150円(保険適用)と手頃だ。「今後、更年期を迎える。プレ更年期。のかたにもおすすめて」

加齢によって低下するホルモンと
その働き・補充した場合に起こり得る副作用

成長ホルモン

筋力増加・活力アップなど
副作用：筋肉痛・関節痛など

甲状腺ホルモン

代謝アップ・コレステロール低下など
副作用：発汗・動悸・頻脈・手のふるえなど

DHEA

がんの予防・抗酸化作用など
副作用：にきび・肝機能障害など

プレグネノロン

記憶力アップ・脳機能の保護
副作用：なし

テストステロン(男性ホルモン)

活力アップ・筋力増加など
副作用：にきび・多毛など

エストロゲン(卵胞ホルモン)

更年期障害の症状改善、コラーゲン増加など
副作用：不正出血・乳房痛・むくみ・発疹・乳がんなど

プロゲステロン(黄体ホルモン)

子宮の保護・感情の安定など
副作用：乳房痛・乳首痛など

メラトニン

不眠症の改善など
副作用：寝起きのたるさ・悪夢など

薬はオーダーメイドで アメリカに発注

「ナチュラルホルモンはアメリカでは十数年の歴史があり、現在男女数十万人がアンチエイジングのために治療を受けていますが、日本には5〜6年前にようやく上陸し、3年前に日本抗加齢医学会が発足されてから真剣な取り組みが始まったばかり。受けている人はまだ数百人程度です。」

ナチュラルホルモンは生物学的に自分が本来持っているものと化学構造式が同じホルモンを補充するため、異物ではなく、体にやさしいのが特長です。数値が正常値であっても、正常値下限であり、他のホルモンとのバランスが悪ければ患者さんと相談しながら補充することもあります。

うちのクリニックでナチュラルホルモンを処方する場合は、まず血液検査をします。2週間後、その結果に基づいて診断し、どの薬を使うか決めていきます。薬はオーダーメイドでアメリカの製薬会社に発注しています。薬が届くまで約2週間くらい。保存料をほとんど使用していないため有効期限は半年程度で、1回(3か月分)約1万5000円からです」



中野あおいさん
あおいクリニック銀座(東京・銀座)院長